

第8回高井戸中学校運営協議会 議事録

	高井戸中学校
記録者	奥山美奈子

開催日時	令和4年12月12日(月)12時～12時45分
開催場所	高井戸中学校 多目的室
出席者(委員)	高津校長・半野田副校長・武井会長・内藤裕義委員・吉田委員 本郷委員・唐澤委員・奥山委員
出席者(他学校)	浜田山小:緒方校長・関谷委員・安藤雅子委員 高東小:坂本校長・久保副校長・松田委員・櫻井委員・安部委員
傍聴者人数	2人(教育委員会より)

会議内容(次第順)	
【報告事項】 ①自己紹介 ②各校長挨拶 ③各会長挨拶	
【協議事項】 ①小中学校CSの懇談 ③その他	
主な意見	
【報告事項】 ①高井戸中・浜田山小・高井戸東小の委員16名の自己紹介。②高津校長:今後は1年に1回小中合同CSをやっていきたい。緒方校長:児童数からして体育館・校舎が人数オーバーである。手当の必要な子は校長室を使う。増築も出来ない状況である。坂本校長:3校ともICTに関して歩調を合わせているようだ。小学校でタブレットをうまく使えるようになり、中学へつなげられている。③武井委員:狸2匹が自宅に来る、可愛いが衛生面からも子どもには触らないよう教えた。関谷委員:エコプロジェクトに出展した。5年生だが、外に出ると輝いていて、しっかりと伝えることができています。松田委員:立ち上げから会長をしている。アンケートをとり学校への要望を聞くようにしている。未だにCSと学校支援本部の違いがわからない。	
【協議事項】 ①高東小の子ども見守りチームについて知りたい→見守りが必要な子どもを午前中のみサポーター、介助員たちがみている。学習発表会も一緒についた。成果は出たと思う。CSと学校支援本部との違いは?→兼任者が多く、長年やっている人が多い。高中のTCRの説明を→学びのスタイルはいろいろなものでOKとしている。自分で時間割を作り、1日を過ごしている。受け入れられることが大切。担任の負担が増えないよう、みんなで見守っている。高東小のコミュニケーションを取る方法は?→小学校は勉強よりコミュニケーション、歩み寄りながら少しずつ打ち解けている。	

令和5年1月20日(金) 16時から 学校評価について	
会場	高井戸中学校 多目的室